

第19回 定例会（平成31年2月22日～3月15日）

# 新年度予算総額 1,341 億円を可決！



本会議初日におこなわれた第4回議場コンサートでは、苫小牧アイヌ文化保存会による伝統の竹製楽器ムックリの演奏をはじめ、歌や舞などが披露され、会場からは大きな拍手が鳴り響きました。

第19回市議会定例会は、2月22日から3月15日まで開かれ、報告6件、議案34件などの審議がおこなわれ、「平成31年度各会計予算案」が可決しました。

市民に開かれた議会を目指すため、平成28年から約2年間にわたり、議会改革検討会などで議論を重ねた「苫小牧市議会基本条例」が可決しました。

基本政策となる市民によるまちづくりの推進、健全な行財政運営の推進など、まちづくりの目標に沿って、主要施策を掲げた市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針に対し、7会派の議員が代表質問で、I・R（カジノを含む統合型リゾート）、防災体制の充実、公設地方卸売市場、まちなかの活性化、（仮称）市民ホールなどについて議論がおこなわれました。

## 主な事業と予算をお知らせします！



・日新団地建て替えに係る工事など（10億2,776万円）



・防災行政無線のデジタル化に向けて設計を実施（1,719万円）



・市民参加の健康づくりイベントなどを実施（500万円）



・タブレット機器などのICT環境の整備（5,653万円）



・緑小学校の校舎・屋内運動場の改修工事など（15億3,776万円）



・緑ヶ丘公園サッカー場の照明設備の設置など（9,050万円）